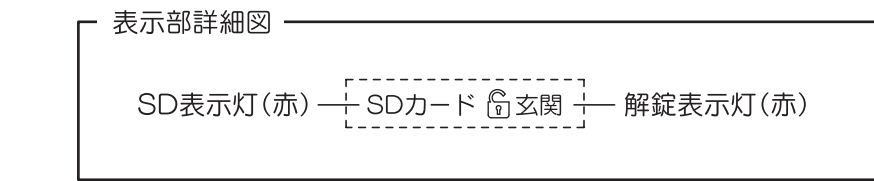
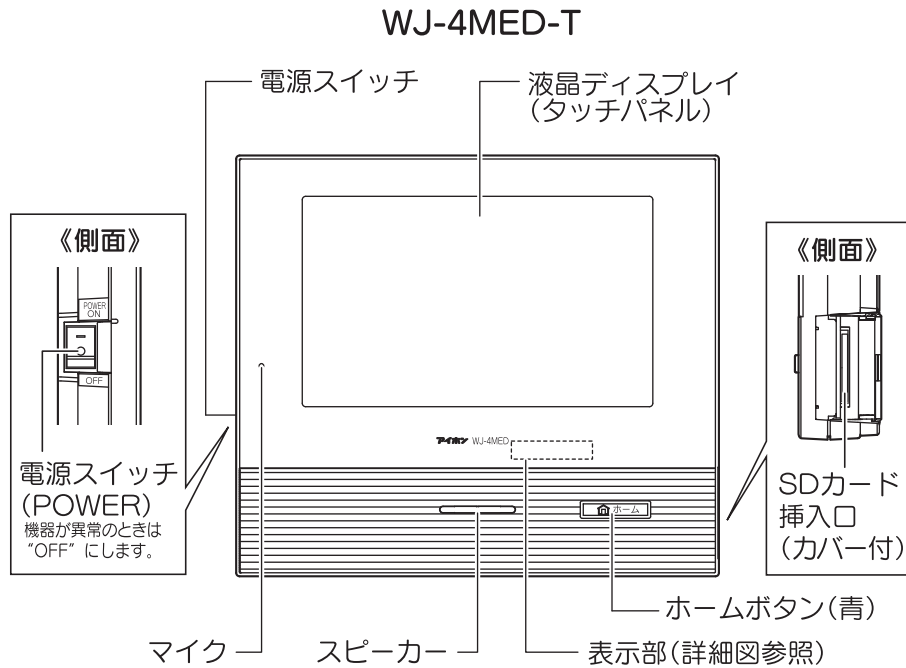


各部の名称

WJ-45の場合、WJ-DA、WJ-4WDに関しては各機器の取扱説明書を参照してください。



付属部品…確認してください。

- WJ-4MED-T accessories list including manuals, optional connectors, gaskets, screws, and AC cover.

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。取扱説明書の「施工設定一覧」に施工設定内容を記入し、お客様にお渡しください。

安全上のご注意

- Warning and Caution sections detailing electrical safety, handling instructions, and installation restrictions.

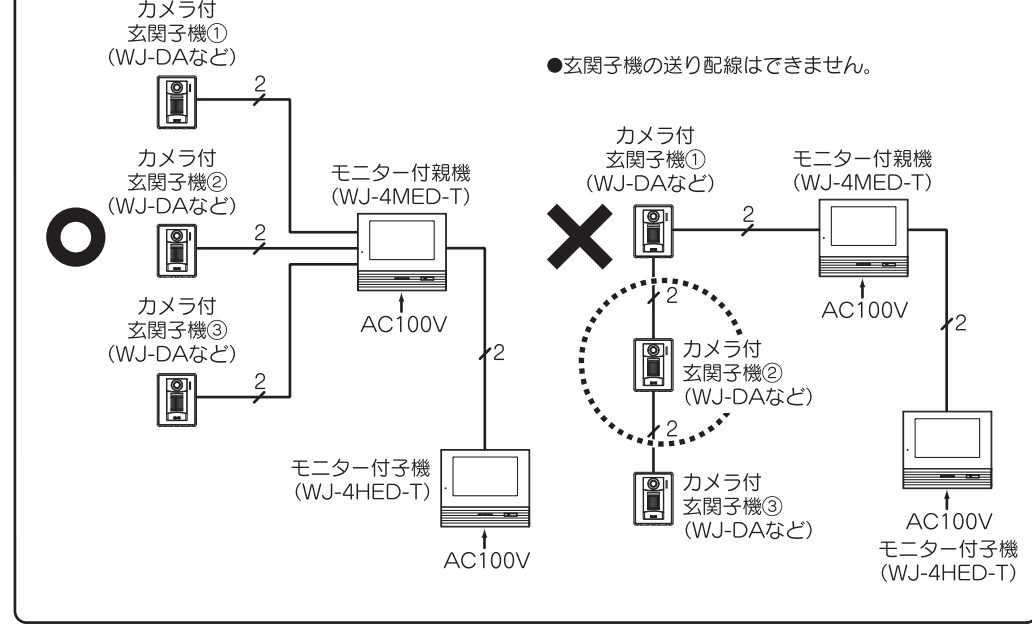
お願い: Please use the device at least 3m away from radios and TVs.

お知らせ: Note about antenna interference and indoor use only.

- WJ-45 accessories list including manuals, optional connectors, gaskets, screws, AC cover, and camera/monitor options.

ご注意

- Wiring instructions: power line connections, cable types (polyethylene, coaxial), and distance requirements from other cables.



取付方法

■モニター付親機

- 本体の上下左右に20cm以上の空きが必要です。(誤作動、通話の途切れ防止のため)
- モニター付親機を埋め込まないでください。
- 他の機器(床暖房リモコンなど)から本体を20cm以上離して設置してください。
特に、給湯器用リモコン(インターホン機能付)からは本体を約40cm以上離して設置してください。(誤動作防止のため)
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(通話の途切れ防止のため)
- 電源スイッチが左側にあります。SDカード挿入口が右側にあります。操作できる場所に設置してください。
- 無線機器から本体を3m以上離して設置してください。
- 他世帯親機から本体を3m以上離して設置してください。

●埋込配線の場合

入線口部※ (露出配線の場合)

本体

ゴムクッション貼り付け箇所

JIS2個用スイッチボックス+セパレーター

電源線

弱電線

取付金具

付属ネジ×4

推奨取付高さ(ボックス中心) 1,390mm

- 1 取付金具を取り付ける
- 2 弱電線、電源線、コネクタを接続する
- 3 本体を取り付ける

ゴムクッションについて

モニター付親機と設置部の間にすき間ができる場合は、必要に応じて付属のゴムクッションを指定の箇所(4カ所)に貼り付けてください。

●露出配線の場合

※必要に応じて入線口部を切り取ってください。(上図)

付属木ネジ×4

46mm

83.5mm

取付高さ(取付金具中心) 1,390mm

取付金具

石膏ボードやコンクリート壁など付属のネジが使用できない場合は、ボードアンカーやコンクリートプラグ(市販品)などを使用してください。

(例) ボードアンカー

コンクリートプラグ

接続方法

！ 接続される各機器の説明書をあわせてお読みください。

⚠ 空き端子を他の目的に使用しないでください。

モニター付親機 WJ-4MED-T (裏面)

●弱電線の接続
速結端子に差し込みます。

はずし釘

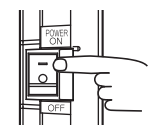
9mm 推奨線径 φ0.9

入りにくいときは、はずし釘を押しながら入れてください。

AC100V (50Hzまたは60Hz)

●電源スイッチ

取付・施工後、本体左側の電源スイッチを入れてください。



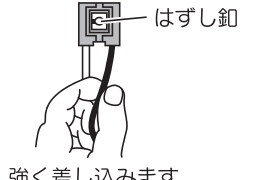
●電源線の接続

50mm以上 推奨線径 φ1.6

12mm

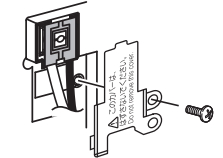
はずし釘

強く差し込みます



●ACカバーの取り付け

●施工時にスイッチボックスを使用しない場合は、必ずACカバーを取り付けてください。



電源線の接続後、ネジ止めする

お願い

●スイッチボックスを使用せずに電源線を壁面に収納する場合は下記の処理が必要です。

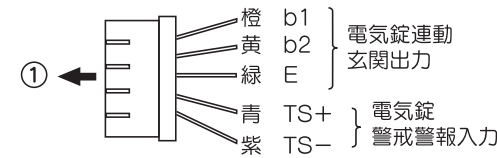


電気錠システムと接続するとき

- 電気錠システムの説明書をお読みください。
- 使用しない線は短絡防止のため、必ず根元から切って絶縁処理をしてください。

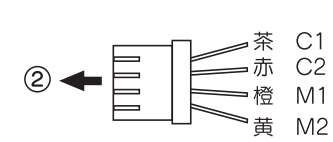
① オプションコネクタ

※本機に付属しています。



② 電気錠用コネクタ (JEM-A)

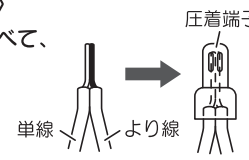
※電気錠コントローラに付属しています。



●弱電線を接続する場合は、圧着スリーブ工法かハンダ付け工法で結線処理を行い、その後絶縁テープで覆い絶縁してください。

〈圧着スリーブ工法〉

1. 単線とより線を並べて、圧着をする



2. 半幅以上重ねて、2回以上巻き付ける

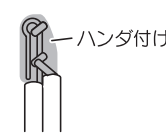


〈ハンダ付け工法〉

1. より線を単線に3回以上巻き付ける



2. 先端を曲げた後、ひげのないようにハンダ付けをする



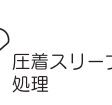
3. 半幅以上重ねて、2回以上巻き付ける



- コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。
- コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。

結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。特に配線の途中で弱電線接続する場合は、ハンダ付け処理か圧着スリーブ処理を行い、その後絶縁テープで絶縁してください。また、配線はできるだけ接続箇所を少なくしてください。

弱電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に弱電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。

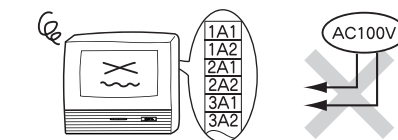


ハンダ付処理

圧着スリーブ処理

⚠ 警告 チャイム線などの既設の配線には、AC100Vが通電されている場合があります。電源線を速結端子に差し込まないでください。

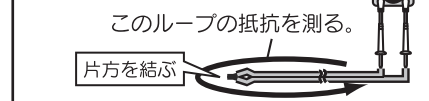
接続を間違えると機器がこわれます。



既設の配線を使用する場合は、機器を取り付ける前にショートや断線がないことを確認してください。



断線チェック (6Ω以下)
片方の端を結び反対側の端をテスターで測る



ショートチェック ∞Ω (無限大)



！ こんなときは…

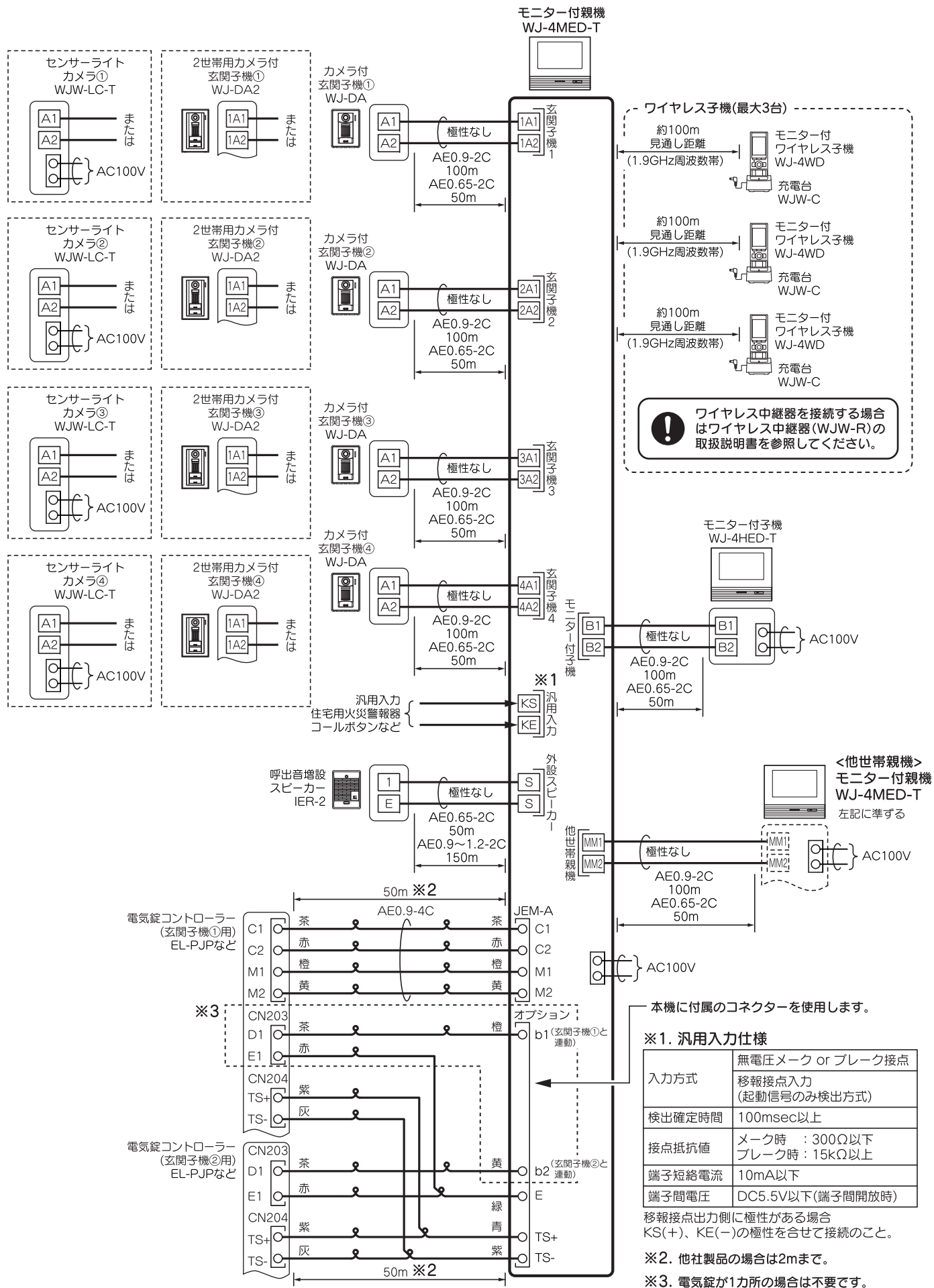


上記画面が表示されたり、ホームボタンが点滅するときは、玄関子機またはセンサーライトカメラの配線がショートしています。配線を確認してください。

接続方法

！ 接続される各機器の説明書をあわせてお読みください。

！ 空き端子を他の目的に使用しないでください。

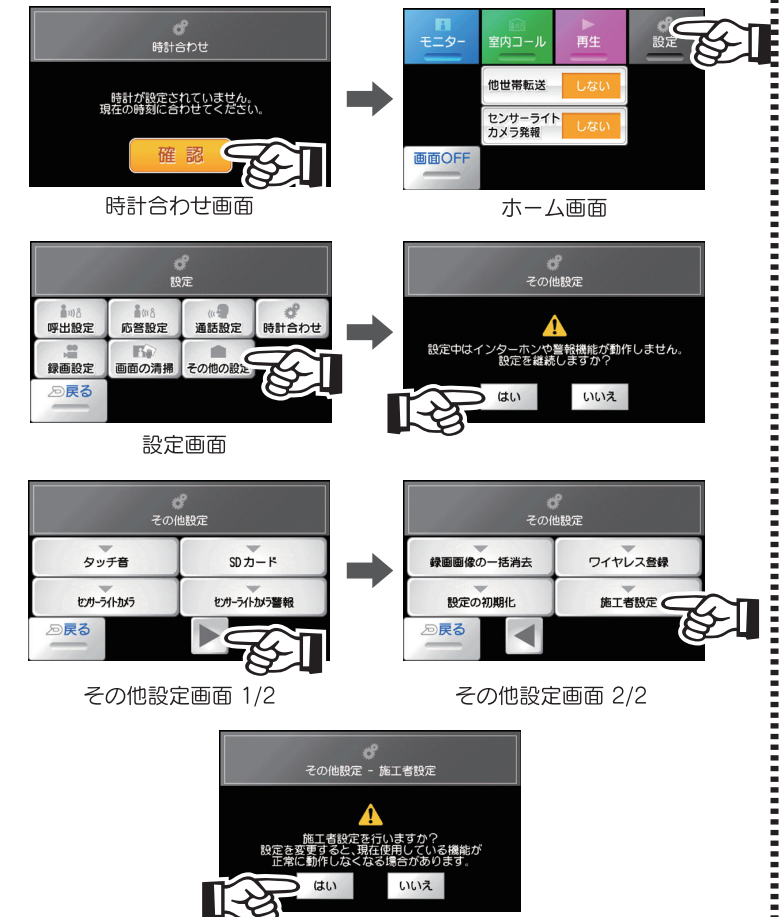


施工時の設定方法

本書で使用されている画面は、実際のものとは異なる場合があります。

＜はじめに施工設定画面を開きます＞

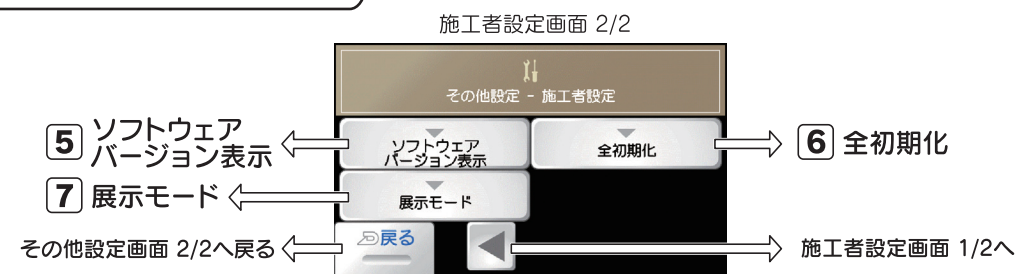
- 画面にタッチするまたは **ホーム** を押します。
時計合わせ画面が表示されます。
- 【確認】** をタッチし、ホーム画面の **【設定】** をタッチします。
設定画面が表示されます。
- 【その他の設定】** をタッチし、**【はい】** をタッチします。
その他設定画面が表示されます。
- 【▶】** をタッチし、次の画面(2/2)を表示させ、**【施工者設定】** をタッチします。
メッセージが表示されます。
- 【はい】** をタッチします。



施工者設定画面 1/2が表示されます



！ 約1分間操作がないと液晶ディスプレイが消灯し、途中の操作は無効となります。



設定方法は次ページ

施工時の設定方法(つづき)

! 接続される各機器にあわせて必ず設定してください。
(設定しないと動作しません)

〈操作手順〉(例) 1 電気錠

1. 施工者設定画面1/2の[電気錠]をタッチします

2. **使用** または **鳴動時間** をタッチして変更します



タッチするごとに ➡ の順に内容が切り替わります

使用 電気錠を使用するかを設定します。
しない ➡ する

鳴動時間 電気錠の警報鳴動時間を設定します。
10秒 ➡ 30秒 ➡ 10分

：出荷時設定

3. 設定が終わったら **決定** をタッチします

前の画面に戻るには **戻る** をタッチします。

! ● 設定を変更する場合は必ず **決定** をタッチしてください。
(**戻る** をタッチすると変更は反映されません。)
● 約1分間操作がないと液晶ディスプレイが消灯し、途中の操作は無効となります。

〈設定項目一覧〉 : 出荷時設定

1 電気錠

親機に接続する電気錠の設定をします。

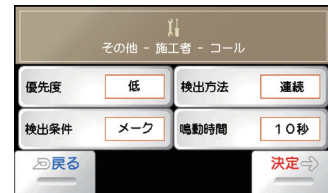


使用 電気錠を使用するかを設定します。
しない ➡ する

鳴動時間 電気錠警戒警報入力 (TS+, TS-) を接続した場合、本機で鳴動する電気錠警戒警報鳴動時間を設定します。
10秒 ➡ 30秒 ➡ 10分

2 コール

汎用入力に接続するコールボタンなどの設定をします。



優先度 発報したときの優先度を設定します。
◆ 高=警報として発報 (戸外発報あり)
中=警報として発報 (戸外発報なし)
低=コールとして発報 (通話中の場合、通話が優先される)
低 ➡ 中 ➡ 高

検出方法 機器に合わせて検出方法を設定します。
[未使用]を選択した場合はコールの他の設定内容は表示されません。
未使用 ➡ ワンショット ➡ 連続

検出条件 機器に合わせてメーク・ブレイクを設定します。
メーク ➡ ブレイク

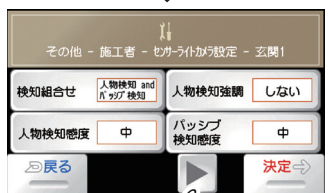
鳴動時間 発報したときの鳴動時間を設定します。
10秒 ➡ 30秒 ➡ 10分

3 センサーライトカメラ設定

接続するセンサーライトカメラの設定をします。
センサーライトカメラの取扱説明書を必ず参照してください。



設定する端子名をタッチします。
センサーライトカメラが接続されている端子名のみ表示されます。



タッチすると右画面へ

検知組合せ センサーの検知方式に関して人物検知とパッシブ検知 (遠赤外線を感知する)の組み合わせを設定します。
◆ センサーの誤検知が多い場合は人物検知 and パッシブ検知にしてください。センサーの未検知が多い場合は人物検知 or パッシブ検知にしてください。
人物検知 and パッシブ検知 ➡ 人物検知のみ ➡ パッシブ検知のみ ➡ 使用しない ➡ 人物検知 or パッシブ検知

人物検知強調 検知組み合わせで人物検知を選択した場合に設定します。
人物検知している部分を□枠でカメラ画像に重ねて表示します。
しない ➡ する

人物検知感度 検知組み合わせで人物検知を選択した場合に設定します。
人物検知の感度を設定します。
中 ➡ 高 ➡ 低

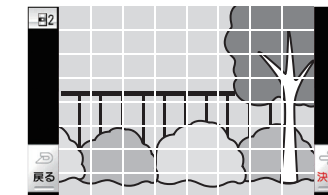
パッシブ検知感度 検知組み合わせでパッシブ検知を選択した場合に設定します。
パッシブセンサーの感度を設定します。
中 ➡ 高 ➡ 低

4 人物検知マスキング

センサーライトカメラの取扱説明書を必ず参照してください。



センサーライトカメラの画像をマスキングすることで人物検知の範囲(エリア)を変更します。
センサーライトカメラが接続されている端子名のみ表示されます。
設定する端子名をタッチします。



マスキング機能とは画面をマスキングし、人物検知の有効/無効を切り替えます。
➡ **【決定】** にタッチで設定されます。

ピンク色 = 人物検知が無効
通常の画像 = 人物検知が有効
8(縦)×8(横) = 64分割

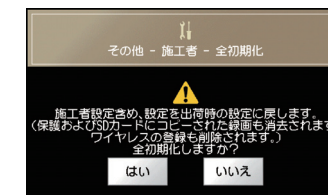
◆ マスキング機能とは画面をマスキングし、人物検知を有効にする箇所と無効にする箇所を設定できる機能です。

5 ソフトウェアバージョン表示

親機、子機、ワイヤレス子機、玄関子機、センサーライトカメラのソフトウェアのバージョンを表示します。ワイヤレス子機は子機1~3、子機は子機4になります。
接続されていない機器は「---」と表示されます。

6 全初期化

全ての設定を出荷時の状態にもどします。
本体メモリおよびSDカードに記録されている録画画像も全て消去されます。



➡ **はい** をタッチします。
正常に作業が完了すると「全初期化が完了しました。」と表示されます。

7 展示モード

通常は使わないでください。(店頭販売時の展示用などに使用します。)



展示モード ハウリングを防ぐため、通話音声全てをミュートに設定します。
はい をタッチで設定されます。

通常モード 展示モードの場合に表示されます。
通常モードにもどします。
はい をタッチで通常モードにもどります。



タッチすると左下画面へ

外部センサー 外部センサーをセンサーライトカメラに接続している場合に設定します。
◆ and=両方が反応した場合に検知します。
or=いずれかが反応した場合に検知します。
使用しない ➡ センサーライトカメラ and 外部センサー ➡ センサーライトカメラ or 外部センサー

フリッカレ機能 設置する地域に合わせて設定します。
◆ フリッカレ機能とは、50Hzの地域でも60Hzの地域でも蛍光灯の下で使用の際にきれいな映像を映し出すための切り替え機能です。
50Hz ➡ 60Hz

赤外LED照度 赤外LEDの照度を設定します。
◆ 親機に白黒で画面が映っている場合、赤外LEDを使用しています。白すぎて見えない場合、暗めに設定してください。
標準 ➡ 暗め